

政策立案等の思考過程等について

市議会議員としての政策立案の思考過程について自身の分析のために概要を作成した。

1. 内発的動機パターン(能動的)



①あるべき姿・理想のイメージを描く。

あるべき姿・理想は、自身の政策理念も踏まえ、学び、人と話し、経験も踏まえて見出していく。
(学ばなければ政策できず。)

②現状の分析

現地の状況、声を確認する。話し合いを行う。必要により統計分析等も実施する。
(固定観念との戦い。物事をフラットで見ることの重要性)

③現状と理想とのギャップを把握する。

現状の分析を踏まえ、理想とのギャップ・**差異を明確化**して把握する。

④ギャップを解消するための政策(手法)を検討する。

市担当部署等の関係者も交え、理想へのギャップをどう解消するか**検討・協議**する。
検討には先進事例、実施時期・予算、必要なモノ等も考慮する。
(創造的思考が求められるかも。)

⑤政策を議会にて提言する。

検討したギャップ解消の為の政策を本会議等で提言する。



⑥結果のフィードバック

実現等した政策が現状にどう影響しているのか、適時分析し、**不足・追加等の政策**を検討する。

2. 課題解決パターン(受動的)



①地域課題解決への要望。(陳情等含む。)

地域や市民の陳情、また大きな事案が発生し、その課題解決が求められるものへの対応。

②現状の分析

地域等の要望が実現可能か、まずは自身が現地等で確認し、**自身の考え**をまとめる。

③市担当部署との協議

地域等の要望と現状について文書等でまとめ、市担当部署と課題解決に向け**協議**する。



④必要により議会にて提言する。

多額の予算を要するもの等、本会議等で取り上げれば**有効**であると判断されたものは、本会議等で提言する。

⑤結果のフィードバック

市民・陳情者等へ協議結果等を回答。

留意事項:

- ①「内発的動機パターン」と「課題解決パターン」はそれぞれ**バランス良く**取り組む必要がある。
- ②「内発的動機パターン」の成功には**熱意が極めて重要**である。
- ③市議会議員である以上、あらゆる物事は市レベルで提言する。
- ④役所は完璧ではない。**議会チェック**が必要。

必要性により受動的なものから能動的なものへと変化する場合有。

- 一例:
- 「内発的動機パターン」
 - ①危機管理体制の改革
 - ②ビジネスサポートセンター設立
 - ③やる気スイッチ教育施策

- 「課題解決パターン」
- ①道路交通安全対策
- ②児童虐待防止の取組み
- ③中学校給食の向上
- ④マスク弊害の対応